

2.7. ソフトウェア設計学講座

2.7.1. 講座の概要

(a) 講座の簡単な説明, キーワード

近年, 社会の様々な分野において情報システムが普及してきている. これらの情報システムを有効に活用していくために, より使いやすく実用的なソフトウェアを設計するための研究が社会的に注目を集めている.

ソフトウェア設計学講座では, このような社会の多くの分野において有効に活用されるソフトウェアを設計するための研究を目的としている. ソフトウェア設計のための基準に関する検討から, 実際にソフトウェアを構築し社会で活用し, その有効性を評価するまでの幅広い観点から研究を行っている.

キーワード: ソフトウェア設計, データ中心アプローチ

(b) 年度目標

- エンティティ関連図, ビジネスフロー図を用いたシステム設計を行う.
- オブジェクト指向言語を用いたシステムの実装を行う.
- 外部団体との共同プロジェクトに学生参画を促す.

(c) 講座構成教員名

菅原光政, 堀川三好, 岡本東

(d) 研究テーマ

- 地域課題を対象としたプロジェクト参加型実践教育について
- 子育て支援における情報技術の活用
- 高齢者支援における情報技術の活用
- 商店街における情報技術の活用
- 着地型観光における情報技術の活用
- NPO 活動支援のための情報技術の活用

(e) 在籍学生数

博士(前期): 5名, 博士(後期): 0名, 卒研生: 7名, 研究生: 0名